

情報委員会 活動報告

芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
BSIJ 理事・情報委員会委員長
志手 一哉



積算協会が先導する これからの日本のBIM

2017年度より体制を一新し、分類体系を中心としたBIMと積算の関係の調査研究を目的に情報委員会は活動を続けてきた。

その中で特に重視したのは、国際標準との整合である。分類体系に関する取り組みは、わが国でも古くから何度も取り組まれてきた。その都度、掲げられていたスローガンは「日本の建設産業の良さを活かす」「日本の商習慣に合わせる」ために、日本独自の分類体系をつくることに終始していた。しかし、現代建築において建物をつくる考え方や方法が、先進国同士でそんなに違うとは思えない。また、BIMという世界共通の考え方に従ったツールを建設プロセスに適用させるのであれば、その文脈で実績のある分類体系を利用するのが現実的である。

こうした考えに基づいて、情報委員会では分類コードWGを組成し、米国のOmniClassと英国のUniclass2015の比較から研究をはじめ、2018年8月23日に「BIMとコストマネジメントー飛躍への課題を考えるー」と題したシンポジウムを開催した（『建築と積算』2018年秋号参照）。

その後、それらと日本の実務で使用されているRIBCコードやCI-NETコードの比較を通じ、BIMオブジェクトを取り巻く形で各種の分類体系の役割を再確認し、その成果を日本建築学会の建築生産シンポジウム（2019年7月25～26日）や日本建築学会大会（北陸）（2019年9月3～6日）にて発表した。

これまでに情報委員会で検討した成果を端的に言えば、BIMオブジェクトを仕分けするための分類（物理的分類）、材料や仕様を識別するための分類（識別コード）、コスト計画を検討するための分類（概念的分類）の3つに分類体系の役割を切り分ける構想を提案したことにある。その上で、「物理的分類」と「概念的分類」の国内標準検討とその応用事例の提案に活動のScopeをあてている。「物理的分類」については米国のOmniClass/Table23 - Productsか、英国のUniclass2015/Ss;Systems, Pr;ProductsのどちらがBIMと適合しやすいかを検証し、どちらかを国内標準として選定し、日本特有の建築要素を追加してローカライズする方針で検討を進めている。

「物理的分類」のコードがBIMオブジェクトに付与されていれば、BIMモデルを移送した先で建築要素を正しく判別できるので、積算ソフトウェアなどで材料や仕様の情報を追記しやすくなる。

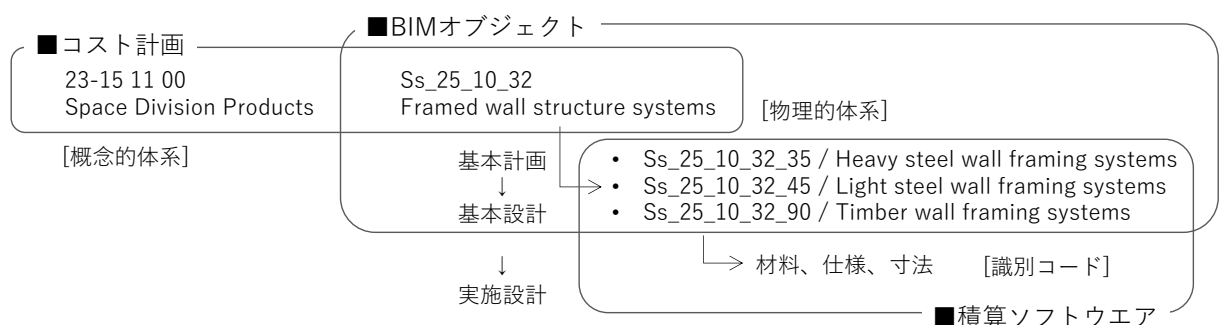


「BIMとコストマネジメントー飛躍への課題を考える」シンポジウム

ここでは、RIBC共通名称やCI-NET建設資機材、あるいは公共建築工事見積標準書式の摘要に対応した従来の「識別コード」を利用する想定である。また、「概念的分類」については、部分別積算書式をベースとした米国のOmniClass/Table21 - Elementsを用い、部分別概算やコスト計画の可能性を情報委員会で検証することになっている。

こうした活動や成果の公表が評価され、2019年6月に発足した、国土交通省が主催する「建築BIM推進会議」では、取り組むべき7つのテーマの1つである「BIMによる積算の標準化」の主体者として積算協会が位置付けられた (<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/kenchikuBIMsuishinkaigi.html>)。

ここでは、先に述べたごとく「物理的分類」に対する国際標準の国内適応、「概念的分類」を応用した部分別概算やコスト計画の検証を、関係する様々な協会・団体と協力をして進めていく所存である。また、BIMという新たなパラダイムにおける積算技術者の役割や存在感を増していくためにも、情報委員会の活動に対して、会員みなさまのご協力やご意見をぜひとも賜りたい。



情報委員会

志手 一哉	芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授	水嶋 和伸	(株)日積サーベイ
沼本 要七	セブンニーズ建築研究所	村瀬 弘幸	(株)日本設計
加納 恒也	(公社)日本建築積算協会 副会長 専務理事	森谷 靖彦	(株)NTTファシリティーズ総合研究所
一岡 義宏	グラフィソフソフトジャパン(株)	谷内 秀敬	新菱冷熱工業(株)
岩松 準	(一財)建築コスト管理システム研究所	山下 純一	(一社)building SMART Japan
江藤 久美子	(株)NTTファシリティーズ総合研究所	山本 敬幸	(株)大林組
大越 潤	大成建設(株)	三上 智大	大和ハウス工業(株)
川本 伸二	協栄産業(株)	須貝 成芳	(株)三菱地所設計
田中 洋介	(株)安藤・間	菊野 格	(株)松田平田設計
中嶋 潤	(株)大林組	飯島 賢治	(株)久米設計
濱田 祐也	(株)日建設計	立石 正則	(一財)日本不動産研究所
濱地 和雄	オートデスク(株)	柴田 奈央	(一財)日本不動産研究所
比嘉 俊介	(株)安井建築設計事務所		